

研究部会 活動報告書（2024 年度）

研究部会の名称

埋立処理処分研究部会

研究部会の活動目的

埋立処分工学のこれまでの研究を整理し、体系化する。成果は書籍（報告書等）として公表することを目指す。
今期も前期に引き続き、昨今の重要な課題である埋立地の廃止に焦点を当て、小集会、部会員の議論を通じて、2002年3月に発行した「廃棄物最終処分場廃止基準の調査評価方法」について、最終処分場の最新の課題を取り入れながら、継続的な改訂を実施する

研究部会の設置期間

5

年のうち、今年度は

4

年目

当該年度の活動実績

活動実績を冊子体などにまとめている場合は、それを提出してください。
そうでない場合は、以下に活動実績を記述してください。

- ① 年次研究発表会における企画セッション設定の有無（☒有） 無）←どちらかに○
（「有」の場合 ⇒ 企画セッション名とその概要と総括）

●2024年度(令和5年度) 廃棄物資源循環学会 春の研究討論会（会場及びオンライン）及び研究発表会（会場及びオンライン）

①春の研究討論会

『廃棄物最終処分場廃止基準の調査評価方法』2024年度改訂版の初稿について、全体構成および改訂のポイントを各章の担当者が説明を行うとともに、改訂版の最終作業を進めるにあたっての課題と方向性について参加者と議論を行った。

②秋の研究発表会

春の研究討論会で「『廃棄物最終処分場廃止基準の調査評価方法』2024年改訂版の初稿について」として、初稿の第1～5章の構成及び改訂の内容について報告を行い、質疑を通じて多くの意見を頂いた。秋の研究発表会では、これらの意見への対応を含めて、改訂版最終稿作成に向けた具体的な検討事例を示し、内容の精査のために、改めて参加者からの意見を徴収し、議論した。

② 研究部会独自の活動について

●ワーキンググループ活動

最終処分場の維持管理と廃止基準に関連して、「埋立物・構造・管理」「測定法」「判断基準」「跡地利用」などのキーワードを中心に意見交換を行い、『廃棄物最終処分場廃止基準の調査評価方法』の改訂の作業内容・分担パートごとの責任者による報告及び意見交換を行った。

埋立処理処分研究部会報告改訂版初稿（2024年5月）：廃棄物最終処分場廃止基準の調査評価方法を公開

埋立処理処分研究部会報告改訂版（2025年3月）：廃棄物最終処分場廃止基準の調査評価方法を公開